

会員紹介

★各町会員紹介の概要

次頁以降に、各町毎(13町、各地在住の計14グループ)に会員を紹介します。

紹介順番は、原則あいうえお順ですが、一部、入れ替わりがあります。
(会員紹介を1ページで紹介している町と2ページで紹介している町の
2つのパターンがあります。2ページで紹介している町は、
両開きとなるように編集している為、一部、入れ替わりが発生しています。)

紹介順序

NO	町名	ページ	NO	町名	ページ
1	青葉町	11	8	野口町	22
2	秋津町	12	9	萩山町	24
3	恩多町	14	10	富士見町	26
4	諏訪町	15	11	本町	28
5	久米川町	16	12	美住町	29
6	栄町	18	13	各地在住(所沢市、その他市外)	30
7	多摩湖町	20	14	廻田町	32



会員紹介

青葉町

- ★東村山市の北東部に位置し、医療関連施設(全生園、多摩北部医療センター等)が多く点在しています。また、コメディアンのかしむら けんさんの生家も、青葉町にあります。
- ★この 1 年程で、当町在住会員の益田 昂さん、土橋 雄二さんが亡くなられて、残念です。

会員紹介(写真と一言)



2021年6月 全生園にて撮影

左から岡部 幹郎さん、風間 和夫さん、松澤 宏さん

岡部 幹郎さん(昭和 39 年法卒)

昭和 17 年 3 月東京、赤羽生まれで東北(仙台、福島)育ち、昭和 31 年に東京に戻る。東村山市(現住所)には昭和 48 年から 46 年間在住。2, 3 年程前から稲門会お誕生会に出席させていただきこれから皆様と親交を深めようと楽しみにしておりましたが、1 年を超えるコロナ禍による各種会合の中断は誠に残念です。ワクチンの接種が行き届き、コロナの終息を待ち望んでおります。趣味はクラシック音楽鑑賞(モーツァルトの愛好者)、男声

合唱歴 25 年、現在はカラオケ大好き人間、ほかに卓球を楽しんでおります。

風間 和夫さん(昭和 30 年法卒)

昭和 6 年生まれ。90 歳になりました。昭和 19 年に中学入学。会では副会長を 5 年程させていただき、又自分でも同好会等を立ち上げ会員の皆様に少しはお役に立てたのではないかと考えております。これからは残り少ない人生をゆっくりと生きてゆきたいと考えております。

松澤 宏さん(昭和 39 年政経卒)

東村山稲門会創立 25 周年おめでとうございます。創立から今日までの運営に尽くされた役員の皆さん、そして諸活動に参画された方々の「力」があったからと思います。私、当会に入会した時期ははっきりとは判りません。ウォーキングの会に参画してきましたが、一時体調を崩してから、参加できておりません。体調回復後は、朝のストレッチ 20 分、スクワット 10 回の後、ウォーキング 40 分・スクワットを行っております。人生百年と云われておりますが、今日に感謝し、明日に望みを持って、日々を送っているのが現在です。何にしろ歩行が思うように進まず、マイペースでの日々です。当会の諸活に参画の気持ちを持ちながら企画される行事への参加は限られてきます。会員諸氏のご多幸を祈念致します。

松澤 徹さん(昭和 59 年政経卒)

高等学院(3 年)から学部(4 年)、40 歳過ぎてからの大学院(5 年)、最近是非常勤講師で 5 年目と早稲田に関わってきました。結婚してから住み始めた東村山で稲門会設立から会員となったので、25 周年というのは感慨深いものがあります。今年の 3 月に定年になりましたが引き続き再任用フルタイムで都立高校に勤務しています。行事等には出ていませんが青葉町 3・4 丁目のポストパーソンの仕事が会への帰属感を与えてくれます。



森本 吏さん(昭和 39 年政経卒)

例えば 20 年近い前に大西初代会長等の案内で入会することとなり、今日迄有難く思っています。最初は年一回の総会や誕生会に出席し楽しい思い出が残っています。その後「パソコン同好会」が出来て小菅会長のもと、講師等に習って、今は LINE や ZOOM の活用で楽しい時間を持つことが出来ました。稲門会ニュースに投稿(「庭木の思い出」「コーヒーと古本屋」)も良い思い出になりました。今は大変な時になっています。コロナに打ち勝ち、熱中症に注意し健康第一の生活を送っています。庭木や健康野菜を作って最後の人生を楽しみたいと思っています。

山崎 光夫さん(昭和 45 年教育卒)

東村山稲門会が誕生して 25 年経った、四半世紀の年月が経過している。25 年前の自分を振り返ると、49 歳だった。翌年には天命を迎える年回りだが、おのれが 50 代か、と信じられない思いをしたものだった。ところが、今や古希を超えて後期高齢者の仲間入り直前である。にもかかわらず、細々ではあるが、文筆活動を続けていられる環境に感謝しつつ、今日も机に向かうのだが、原稿は遅々として進まない。黒髪は白髪に変わったが、遅筆は 25 年前と変わらない。



(清水 聡 編集)

会員紹介

秋津町

秋津町とは

- ◆ 東村山の北東の地域で、西は所沢街道、南は空堀川が目印です。
南北に走る武蔵野線と東西に走る西武池袋線が交差する所に、新秋津駅と秋津駅があります。
- ◆ 『秋津悠遊会』について
秋津町在住の会員の新たな交流をめざして、故池田孝さん(昭40政経)が中心となり 2016 年秋にスタートした親睦会。毎回 1～2 名が学生時代や仕事の経歴体験などを披露。その後の意見交換や、一杯やりながらのカラオケタイムもお楽しみ、新たな会員お誘いの一助にも。しかし、2019 年秋の第 7 回を最後に新型コロナもあり休止中。
- ◆ 秋津町の代表的スポット
 - ① 秋津神社: 日本武尊が祭神。1810 年(文化7年)に再建されたといわれる市指定有形文化財の本殿には 1699 年(元禄 12 年)に寄進された不動尊像が安置されている。
 - ② 淵の森緑地: 東村山市と埼玉県所沢市との境を流れる柳瀬川沿いに位置する約 4,300 m²の小さな森。宮崎駿氏が「となりのトトロ」の構想を練ったところと言われている。アオバズク、アオゲラ、オオタカなど野鳥も多く観察できる。
 - ③ 光あまねしの碑: 詩人草野心平が昭和 38 年 10 月に秋津のこの地に移住しこのあたりを「五光」と名付けて親しんだ。



会員プロフィール・近況

大野 恵子さん：東村山在住 38 年。1999 年頃入会。稲酔会、ゴルフ、英語、PC の会を仕事に追われやむなく退会。ラジオ&スマホ英会話とゴルフが生き甲斐。体を鍛えて自立し、海外旅行で英語を話すのがコロナ後の夢。(昭 46 文)



北原 啓行さん：趣味はガジェット集めと喫茶店でのんびり過ごすこと。最近のベストバイは軽くて長時間動く chromebook の ideapad duet です。喫茶店は気軽に行けなくなりましたが応援の意味でテイクアウトかコーヒー一杯は飲むようにしています。独身ですので、どなたかいい方がいらっしゃればご紹介ください。(平 12 商)



肥沼 恒夫さん：入会平成 9 年、創立総会出席記憶有。「郷土史の会」、延長で市「古文書を読む会」等参加。当時の先輩鬼籍に入られた方多く 25 年の歳月想います。今は、所属老人会今秋創立 50 年、記念誌作成中です。(昭 36 法)



会員紹介

関 一誠さん：都民であることに拘り 6 回転居した。亀戸天神で遊び、根岸下谷で祭りに興じ、町田で子育て、多摩市で団地生活を体験し、馴染みのなかった当地に辿り着いた。およそ 40 年の歳月が経ち終の棲家と考えている。
(昭 43 教育)



田邊 正史さん：今年 7 月で 64 歳になり定年再雇用 5 年目。趣味はオーディオ鑑賞、ランニングは 1 昨年に腰を痛めてから休止中。65 歳で仕事を辞めたら、スポーツを応援する会に参加させて戴きたい。
(昭 56 理工)



中村 靖さん：昨年より在宅勤務が中心となり、家でオンライン会議や電子メールのやりとりを行っております。また気分転換に、ゴルフの練習、ラウンドに出かけております。コロナワクチンの接種はこれからで、8 月後半に終わる予定。その頃には、外で飲食が出来ることを願っています。(昭 58 社学)



南湖 修一さん：約 20 年前に所沢市から転居し、東村山稲門会に入会。下手ながらカラオケ同好会やゴルフ同好会で楽しく活動。身体の衰えを感じながらもバードウォッチングを兼ねたウォーキングやドライブを満喫している。
(昭 48 商)



馬場 可修さん：現在も週 4 日の会社勤めを継続中ですが、コロナもあり、在宅勤務が主で出勤は隔週の月のみとなっています。平日、毎朝一時間程度のウォーキングを日課としており、宮崎駿監督を時々お見掛けします。
(昭 56 法)



林 基樹さん：東村山に居住して 33 年、稲門会設立時に入会しながら、活動には一切参加していない。これからの自身の楽しみは、野球を始めた孫とコロナの終息後に早慶戦観戦に出かけられたらとの思いである。
(昭 41 法)



比留間 光信さん：早くも 25 周年まさに光陰矢の如しです。今年 88 才になりましたが、まだ此の世に未練があり、コロナのワクチン接種も終り、毎日ラジオ体操をしております。コロナが一日も早く終息する事を願っています。
(昭 31 法)



福田 昇七さん：秋津町の御目付役。学生時代から“電波”が専門で、アンテナと新幹線の列車通信には特に思い入れがある。趣味の写真にも造詣が深い。パソコン活用の必要性に賛同し、パソコン同好会の設立に参画。
(昭 36 理工院)



藤井 省さん：入会 5 年、パソコン同好会、写真を楽しむ会に所属。昨年末、山本会長からニュースの編集長をバトンタッチ。コロナ禍でも同好会や役員会が活動できるようオンライン会議ツールの利用に挑戦中。
(昭 52 理工院)



前田 恒文さん：広告会社定年後も契約で多摩地区を担当。畑違いの営業も新たなお客様との出会いは適度な刺激に。「今日行く、今日用」の有難さを痛感。秋津悠遊会事務局とポストパーソンを担当。週末は JRA がお友達
(昭 51 文)



会員紹介

恩多町

恩多町はこんな町

- ◆ 恩多町を流れる空堀川では朝夕散歩やジョギングを楽しんでいる人をよく見かけます。コロナ禍の今、その数は増えているように思えます。
- ◆ 町内には果樹園も多くあり、梨狩り、ぶどう狩りが楽しめます。
- ◆ 市の運動公園があります。ここには、本物のSLが設置されていました。残念ながら、数年前に撤去されました。右の写真は、設置当時のSLの写真です。



恩多町の会員・近況

恩多町には現在 7 名の会員がいらっしゃいます。東村山稲門会創立 25 周年記念誌発行に向け伊吹さん、堀田さん、清水さんよりコメントを頂きました。

伊吹 史郎さん（昭和 44 年法卒）

私は早大に入って六大学野球を観戦することを楽しみにしています。例年は六校 12 試合の内、およそ 6 試合は観戦していました。今季リーグ戦はコロナの問題で無観客の試合があり、残念ながら 3 試合のみの観戦となりました。東京大学・明治大学・慶應大学の 3 試合でした。コロナが早期に克服されたいものです。コロナとは言え注意しながら外へ出て楽しんでいます。今後ともよろしくお願いします。皆様のご健康をお祈りします。

堀田 秀夫さん（昭和 38 年文卒）

81 歳になりました。生まれは名古屋駅新幹線より出口近くと言えは聞こえは良いのですが、終戦後典型的な闇市のドヤ街でした。またこのところ己の至らなさが次から次へと頭の中を駆けめぐり、猛省の日々を送る始末。もう生きるのが辛く面倒になりましたので、昔を振り返ることはなしにしたいと思います。問題はこれからです。コロナウイルスに翻弄されている状況はいかなるものでしょうか。何しろ問題の「中国産」ですから厄介です。14 世紀中葉ヨーロッパを襲った黒死病（ペスト）を思いおこします。およそ半数の人々が亡くなったと推定されています。かの観光名所フィレンツェでは死体を埋葬できず、道路に投げ捨てられ、野犬が食す有様、死ぬも生きるも地獄の絵図でありました。現代版ウイルスは人間よりも進化早く、戸惑うばかり。解決の要である政財界困惑の極み。経験則がないのですから、右往左往することは理解できますが、これまで培ってきた優れた伝統や遺産、即ち、誠実、信念、矜持、忍耐、努力などなどは、あの「忖度」が物語っているように、壊れかけ、将来が案じられます。オリンピックどころではありません。いよいよ沈没の時が来たかと心配です。南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏。己にも。

清水 聡さん（昭和 50 年法卒）

2015 年 63 歳で中国より帰国、即引退しました。20 年以上にも及ぶ単身赴任生活で、いろいろ苦労をかけた奥さんと国内旅行、富士登山、ハイキングとコロナまでは大いに楽しむことが出来ました。また昨年は中国人女子留学生を受け入れたのですが、来日後 1 ヶ月そこそこで留学先の高校が休学となり、学校再開の目処が立たず送り返さなければならなくなりました。帰国したがない子を送り出すのは本当に辛いことでした。コロナ禍で自分自身の生活もすっかり変わってしまいましたが、コロナ終息後にやりたいことをいろいろ考え頑張っています。皆様のご健康をお祈りします。

（清水 聡 編集）